

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	( )
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	明和町 244422
地域名 (地域内農業集落名)	上御糸 (坂本、中海、馬之上、御厨野、小藪、佐田、下尾、前野、行部)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	470.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	404.3 ha
② 田の面積	294.7 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	109.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	80.9 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	417.8 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	161.0 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考) ⑤に関しては規模拡大意向のある耕作者の耕作面積を10年後に5割増しで見込みをたてました。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

現在、この地域の農地は592名の耕作者により営農されています。全農地面積約404haの内、約半数にあたる208haは26名の法人・認定農家等で耕作されている。残りの農地196haは中小規模の個人農家で耕作され、そのうち65歳以上の方は約161haとなっています。今後10年以内に健康面、年齢面、設備故障等による理由で離農者が増加することが考えられます。また、この地域の畑地は109ha(1665筆)あり、その内1筆400㎡以上の畑は約97.5ha(1071筆)で、残りの11ha(約600筆)は平均1筆200㎡以下の小さい畑地となっています。耕作者数も69名と多いことより小さい畑地の貸付、集約化が難しい課題があります。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

耕作できる農業者は継続して営農してもらう。今後、やむなく離農される方は目標地図に示されている担い手にできるだけ集積・集約していただくことで、この地域の農地を安心して維持していくことを検討していく。また多数の小規模畑地は地権者合意の元で集約・団地化を行い、一定規模での担い手への貸付を行うことも考えていく必要がある。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針					
今後、離農が発生する場合はできるだけ目標地図に示されている近隣担い手に集約することで、担い手の効率化および生産性を向上する方針とする。					
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標					
現状の集積率	51.3	%	将来の目標とする集積率	74.3	%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標					
地元担い手および若手地権者が離農農家を引き受けて、集積・集約を図る。					

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
耕作者は今後できるだけ耕作を継続していただき、やむなく離農する際は目標地図で示された近隣の担い手に集積することで、団地化および集約化を行う。
(2)農地中間管理機構の活用方法
現在の利用権設定が満期となれば、中間管理事業を活用する。新たな賃借契約が発生した時は中間管理事業を活用する。
(3)基盤整備事業への取組
担い手への集約化の進展が見えた段階で、畦畔除去、水路の整備、農道整備を順次検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
町・県・JAと連携し新規就農者の確保に努める。また、機構を通して、県内、県外の担い手の誘致も検討していく。誘致地区を明確にする。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策		②有機・減農薬・減肥料		③スマート農業		④輸出		⑤果樹等
	⑥燃料・資源作物等		⑦保全・管理等		⑧農業用施設		⑨その他		

【選択した上記の取組内容】

①補助事業を活用して被害防止対策を行っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)			目標地図上の表示	備考
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積		
認農	A	主穀・豆類	49.3 ha	ha	主穀・豆類	73.95 ha	ha	目標地図参照	拡大
到達	B	主穀	44.5 ha	ha	主穀	66.75 ha	ha		拡大
認農	C	主穀	33.5 ha	ha	主穀	50.25 ha	ha		拡大
認農	D	主穀・豆類	25.3 ha	ha	主穀・豆類	37.95 ha	ha		拡大
認農	E	主穀	23.6 ha	ha	主穀	35.4 ha	ha		拡大
認農	F	主穀	5.9 ha	ha	主穀	8.85 ha	ha		拡大
認農	G	主穀・豆類	5.1 ha	ha	主穀・豆類	5.1 ha	ha		維持
認農	H	主穀・野菜	3.4 ha	ha	主穀・野菜	3.4 ha	ha		維持
認農	I	主穀	2.5 ha	ha	主穀	2.5 ha	ha		維持
認農	J	主穀	2 ha	ha	主穀	2 ha	ha		維持
認農	K	主穀	1.7 ha	ha	主穀	1.7 ha	ha		維持
認農	L	主穀	1.6 ha	ha	主穀	1.6 ha	ha		維持
認農	M	主穀	1.3 ha	ha	主穀	1.95 ha	ha		拡大
認農	N	主穀	1.2 ha	ha	主穀	0.84 ha	ha		縮小
認農	O	主穀・果樹	1 ha	ha	主穀・果樹	1 ha	ha		維持
認農	P	畜産	1 ha	ha	畜産	1 ha	ha		維持
認農	Q	主穀	1 ha	ha	主穀	1 ha	ha		維持
認農	R	野菜	0.9 ha	ha	野菜	1.35 ha	ha		拡大
認農	S	主穀	0.7 ha	ha	主穀	1.05 ha	ha		拡大
認農	T	主穀	0.6 ha	ha	主穀	0.6 ha	ha		縮小
到達	U	野菜	0.5 ha	ha	野菜	0.75 ha	ha		拡大
認農	V	主穀	0.4 ha	ha	主穀	0.6 ha	ha		拡大
認農	W	主穀	0.2 ha	ha	主穀	0.2 ha	ha		維持
認農	X	主穀	0.2 ha	ha	主穀	0.2 ha	ha		維持
認農	Y	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.15 ha	ha		拡大
認農	Z	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.15 ha	ha		拡大
計	26経営体		207.6 ha	0 ha		300.29 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

